6　特定建設工事共同企業体としての資格

⑴　特定建設工事共同企業体の構成　特定建設工事共同企業体の構成は、次の条件を満たす者２又は３社の組合せとする。

ア　装備施設本部長から建築一式工事に係る一般競争（指名競争）参加資格の級別の格付を受け、帯広防衛支局に競争参加を希望している者であること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）。

イ　装備施設本部長が算定した建築一式工事に係る経営事項評価数値（資格審査結果通知書の記３の経営事項評価数値欄の点数）が、990点以上であること。

ウ　会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記アの再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。

エ　競争参加資格確認申請書の提出期限の日から認定を行う日までの期間に、帯広防衛支局長（旧帯広防衛施設支局長を含む。）から、「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（通達）」（平成６年８月31日付施本第1605号（ＣＣＰ））に基づく指名停止を受けていないこと。

オ　上記１に示した工事に係る設計業務等の受託者（受託者が設計共同体である場合においては、当該設計共同体の各構成員をいう。以下同じ。）又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

⑵　構成員の技術的要件等　特定建設工事共同企業体の構成員は、次に掲げる要件を満たすものとする。

ア　平成６年度以降に元請けとして、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で地上２階建て以上かつ延床面積が2,000㎡以上の新設建物の建築工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上のものに限る。）。

イ　建設業法の建築工事業につき許可を有しての営業年数が５年以上であること。

ウ　建築一式工事に係る監理技術者又は国家資格を有する監理技術者を工事現場に専任で配置できること。

⑶　出資比率要件　すべての構成員が、均等割りの10分の６以上の出資比率であるものとする。

⑷　代表者の要件　代表者は、建築一式工事に係る施工能力が大きいと認められる者とする。また、代表者の出資比率は、構成員中最大であるものとする。

7　上記６⑴アに掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者を含む特定建設工事共同企業体も上記４により申請することができる。この場合、上記６⑴アに掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者は、上記６⑴ア及びイに示す構成員の要件を得る必要がある。

なお、当該工事の開札の時までに特定建設工事共同企業体として資格の審査が終了していないとき又は上記６⑴アに掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者が当該工事の開札までに上記６⑴ア及びイに示す構成員の要件を得ていないときは、特定建設工事共同企業体としての資格がないものとする。

8　資格審査結果の通知

「資格審査結果通知書」により通知する。

9　資格の有効期間

資格審査結果通知の日から工事請負契約の履行後３か月以内を経過するまでとする。ただし、当該工事の請負者以外の者であっては、当該工事の請負契約が締結された日までとする。

10　その他

⑴　共同企業体の名称は、「帯広⑵庁舎新設等建築工事○○○建設・○○○建設・○○○建設建設共同企業体」とする。

⑵　当該工事に係る競争に参加するためには、開札の時において、特定建設工事共同企業体としての資格の認定を受け、かつ、当該工事の「入札公告（建設工事）」に示すところにより、競争参加資格の認定を受けていなければならない。

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成21年12月28日

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

事務局長　平野　仁司

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　17

○第３号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量

知識創造支援システム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期

平成22年度12月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　本システムは、以下のサブシステムから構成される。

ａ　人間行動分析サブシステム

ｂ　グループワーク支援サブシステム

ｃ　サテライトキャンパス教育研究支援サブシステム

ｄ　医療サービスサイエンス教育研究基盤サブシステム

ｅ　３次元デザインサブシステム

ｆ　高次元ハイブリッドマイニングサブシステム

ｇ　ユビキタス知識創造サブシステム

ｈ　構内通信サブシステム

ｉ　生体計測サブシステム

ｊ　アプリケーションサービスサブシステム

ｋ　演習支援サブシステム

ｌ　印刷サービスサブシステム

ｍ　フィールドワーク支援サブシステム

B　人間行動分析サブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　防音室を備えること。

ｂ　上記の防音室および既存の実験室の中での人間の行動を、様々な方法で観察・分析できる機能を有すること。

C　グループワーク支援サブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　テーブル型で、タッチパネルもしくはそれに準ずる入力機能を有するコンピュータを備えること。

ｂ　大型サイズのフラットベッド式カラースキャナを備えること。

ｃ　タッチパネル式電子黒板に類似した装置を備えること。

ｄ　手書きした文字や図形を、コンピュータにワイヤレスで送信できるペン型装置を備えること。

ｅ　グループワークや遠隔会議が出来るシステムを備えること。

D　サテライトキャンパス教育研究支援サブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　コミュニティでやりとりされるメッセージなどから、必要な情報を自動的に集約する機能を有すること。

ｂ　高速な全文検索式テキスト抽出機能を有すること。

ｃ　上記機能を円滑に稼動させることができる十分な性能を持つコンピュータを備えること。

E　医療サービスサイエンス教育研究基盤支援サブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　医療オントロジーおよび医療データベースの構築・運用を行うに十分な性能を持つコンピュータを備えること。

ｂ　個人情報を保護するための機能を有すること。

ｃ　オントロジー構築用クライアントコンピュータを備えること。

F　３次元デザインサブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　コンピュータ内にある３次元データを基にして、立体模型を作成することができる装置を備えること。

G　高次元ハイブリッドマイニングサブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　高次元ハイブリッドマイニングに必要なソフトウエアおよびハードウエアを備えること。

H　ユビキタス知識創造サブシステムは以下の要件を満たすこと。

ａ　知識科学研究科棟内において、何らかの方法で人間等の位置を検出する機能を有すること。